

<機械・農作業の共同化に取り組む事例>

○集落営農の強化による共同集約化の推進

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	富山県滑川市大崎野 <small>なめりかわしおおさきの</small>			
協定面積 58.9ha	田 (100%)	畑	草地	採草放牧地
	水稻、麦			
交付金額 1,236万円	個人配分			—%
	共同取組活動 (100%)	共同利用施設及び機械整備費		73%
		農用地の維持管理費		25%
		役員報酬		2%
協定参加者	農業者16人、営農組織1 (構成36人)			開始:平成13年度

2. 取組に至る経緯

当集落は、小規模営農による採算性の問題に加え、高齢化が進行する中で農業生産活動の継続や耕作放棄の発生に不安があったことから、平成13年度より中山間地域等直接支払交付金を活用し、機械や施設等の共同利用による作業集約化、営農組織化を目指した取り組みを開始した。

第3期対策からは、営農組織を強化し、共同集約化の更なる拡大を図るため、協定を締結し取り組んでいる。

3. 取組の内容

当集落は、水路・農道等の維持管理活動や周辺林地の整備活動などの共同取組活動に加え、集落を基礎とした営農組織の強化・育成により農地の保全に努めている。

第3期対策では、集落営農による機械・農作業の共同集約化、生産コストの低減を一層促進するとともに、従来対象としていなかった農用地等での営農に積極的に取り組み、農業生産活動を拡大している。

また、農道のコンクリート舗装や用水路の改修を共同取組活動により行い、農業生産条件の維持・強化に取り組んでいくことにしている。



【田植えの共同作業】



【周辺林地の整備活動】

[集落の将来像]

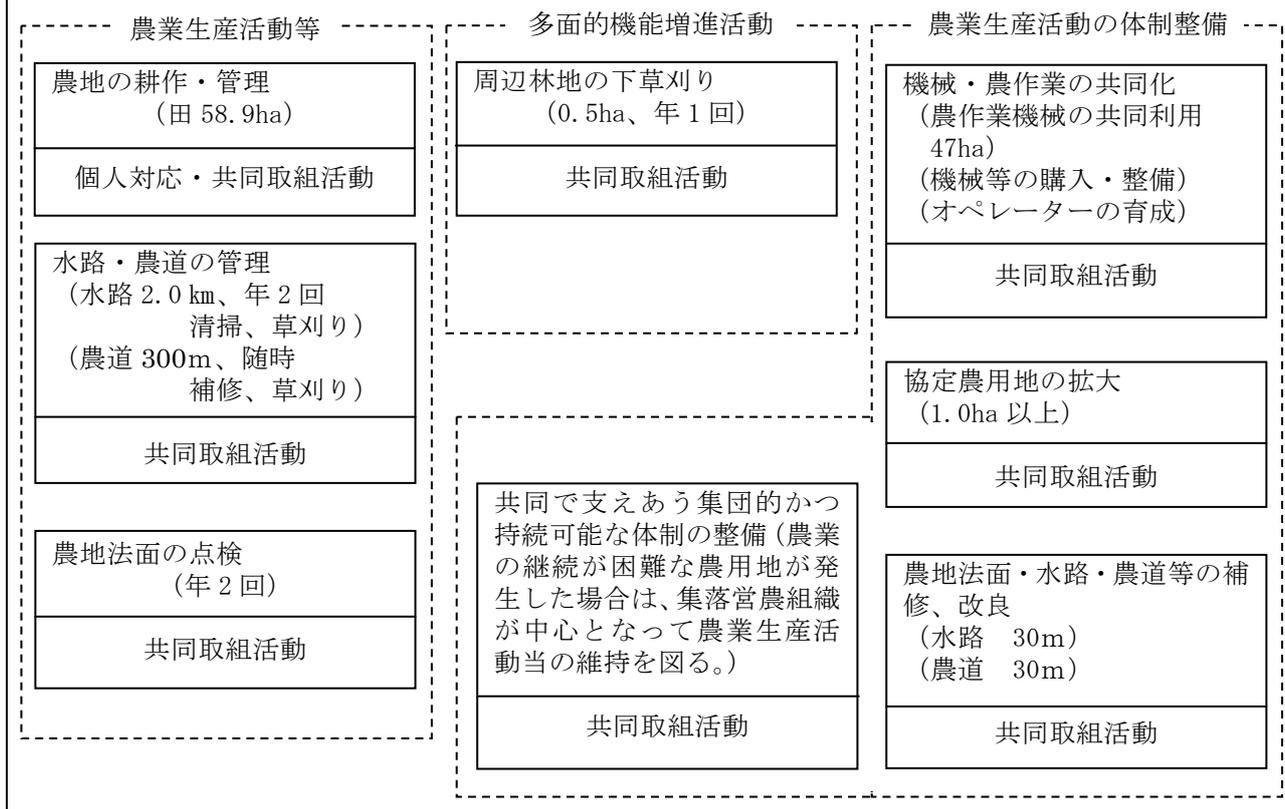
- 共同集約化による助け合いと農業生産活動の効率化により、明るく、元気な農村集落の形成・発展を目指す。



[将来像を実現するための活動目標]

- ・ 集落営農組織の強化、拡大
- ・ 農業生産基盤の維持、改良
- ・ 集落総意の合意形成

[活 動 内 容]



4. 今後の課題等

交付金の活用により、集落内で連携した農地や水路・農道の維持や管理活動、農作業・機械の共同化、助け合いが進められ、農業生産活動を継続し農地を後世に引き継いでいく体制を強化することができたが、今後も高齢化や兼業による農業者の負担が厳しい状況にあることから、集落営農を強化していくことが課題となっている。

[第2期対策の主な成果]

- 機械・農作業の共同化
 - ・ 田植え機等の共同利用 [H17: 0km、H21: 45ha]
- 多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落等との連携
景観作物の作付け、基幹水路清掃等を共同で実施 (非農業者11人、他集落2集落)
- 水路・農道の適正な管理
 - ・ 農道舗装による、農業の円滑化 [H17: 0km、H21: 300m、随時]
 - ・ 水路江ざらい等 [H21: 2km、年2回]